

# 日本李登輝友の会の歩み

[平成 13 年(2001 年) 4 月 11 日～平成 15 年(2003 年)11 月 30 日]

本会は、李登輝前台湾総統の来日問題（ビザ発給要求運動）、そして、在日台湾人の外国人登録証明書における国籍問題（台湾正名運動）などを通じ、日台有志の提携活動が拡大した結果、発足に至りました。ここでは、そうした発足以前の流れもあわせて紹介します。

## 【平成 13 年（2001 年）】

### 4 月 11 日（水）

李登輝前台湾総統の訪日をめぐり、同日の「日本政府が入国ビザ申請を事実上拒否」という報道に接し、在日台湾同郷会（林建良会長）が台湾人の尊厳を踏みにじるものとして、日本政府へ抗議と決定の変更を要求。

### 4 月 12 日（木）

同問題で、台湾研究フォーラム（柚原正敬代表）が「李登輝氏へのビザ発給問題に関する声明」を発表、日本政府に対して人道に則った措置と中国の内政干渉を排した主権国家としての威信を示すよう抗議し、李登輝氏への速やかなビザ発給を要求。

### 4 月 17 日（火）～19 日（木）

在日台湾同郷会と台湾研究フォーラムが中心となり、外務省前にて李登輝氏へのビザ発給要求の座り込みデモを敢行。

### 4 月 22 日（日）

李登輝氏へのビザ発給が 20 日に決定、関西国際空港にて李登輝・曾文恵ご夫妻を日台の有志 400 人が出迎え。

### 6 月 9 日（土）

在日台湾同郷会が在日台湾人の外国人登録証明書の国籍記載を中国から台湾に改めることを求めて「正名運動プロジェクトチーム」を発足。

### 8 月 5 日（日）

在日台湾同郷会が台湾研究フォーラムの協力のもと、東京・池袋のホテルメトロポリタンにおいて「台湾人の外国人登録証国籍を正す日台緊急国民集会」を開催。パネリストは、伊藤潔（杏林大学教授）、柳川昭二（弁護士）、林建良（在日台湾同郷会会長）、柚原正敬（台湾研究フォーラム代表）の 4 氏。約 200 人が参加。集会では国籍記載の改善を日本政府に求める決議文を採択。

### 8 月 8 日（水）

「台日共闘・国籍正名運動」と銘打って東京入国管理局と法務省へ外登証改善要求デモを敢行し、法務省に国民集会で採択した決議文を手交し抗議。台湾からの留学生を含め約 150 人が参加。

### 8 月 29 日（水）

在日台湾同郷会の林建良会長と台湾研究フォーラムの柚原正敬代表が「日本李登輝友の会設立準備会」を設け、発起人予定者に就任依頼状を送付。

### 9 月 5 日（水）

台湾側の事情により、日本李登輝友の会の発足を延期。

9月26日（水）

8月12日、李登輝前台湾総統を精神的指導者として仰ぐ政党「台湾団結聯盟」（黄主文主席）が台湾で結成されたこと受け、東京・池袋のホテルメトロポリタンにおいて「台湾団結聯盟日本後援会」の結成大会を開催。黄主文主席が来賓として臨席。出席者は約200人。

## 【平成14年（2002年）】

6月19日（水）

再度「日本李登輝友の会設立準備会」が発足。

9月11日（水）

「日本李登輝友の会」の設立に向け、石井公一郎（元ブリヂストンサイクル社長）、小田村四郎（拓殖大学総長）、黄文雄（拓殖大学日本文化研究所客員教授）、田久保忠衛（杏林大学教授）、林建良（在日台湾同郷会会長）の5氏により呼掛け人就任の依頼状を発送。

10月29日（火）

呼掛け人110名をもって発起人就任の依頼状を発送。

11月18日（月）

作家の阿川弘之氏が会長就任を内諾。

12月11日（水）

日本李登輝友の会の設立に先立ち、東京・港区のホテルオークラにて記者会見を開催。阿川弘之（作家）、小田村四郎（拓殖大学総長）、黄文雄（評論家）、林建良（在日台湾同郷会会長）、柚原正敬（台湾研究フォーラム代表）の5氏が設立準備会を代表して会見。

12月15日（日）

ホテルオークラにて設立大会を開催、阿川弘之氏が会長に就任し、李登輝前台湾総統がインターネットを通じて「台湾精神と日本精神」と題して記念講演。台湾の李登輝友之会全国総会の黄崑虎会長や台北駐日経済文化代表処の羅福全代表などの来賓を含め約1300人が出席。

## 【平成15年（2003年）】

3月30日（日）

本会のホームページ（<http://www.ritouki.jp/>）を開設、公開。

4月2日（水）

東京都千代田区三番町において本部の事務所開き。

4月6日（日）

台日友好関係促進団（団長：邱垂亮総統府国策顧問）と東京・千代田区の都市センターホテルにて「日台交流座談会」を実施。林常務理事、柚原事務局長、永山事務局次長、猪鼻監事が出席。

本会の地方支部第1号として新潟県支部（新潟李登輝友の会）が新潟市内で設立総会を開催。理事で李登輝氏と台北高等学校で同級生の伊藤栄三郎氏（新潟日報社社友）を支部長に、清野伸一氏を事務局長に選出。記念講演は黄文雄常務理事。

4月26日（土）

本会后援の「日本李登輝学校・修学院」（院長・久保田信之学習院女子大学教授）開校の記者会見と記念講演（黄主文・台湾団結聯盟主席）を学習院大学百周年記念館において開催。

#### 4月30日（水）

本会2番目の支部として富山県支部（富山李登輝友の会）が設立。理事で富山縣護國神社宮司の梅野守雄氏が支部長に就任。

#### 5月11日（日）

台湾ではSARSのために延期となった「511台湾正名運動デモ」（実行委員長・陳明裕在日台湾同郷会会長）を日台有志が東京・新宿駅周辺にて実施、約300人が参加。

#### 5月24日（土）

日本李登輝学校・修学院（院長・久保田信之学習院女子大学教授、本会理事）が学習院大学百周年記念館にて開校。以後、毎月第4土曜日に開催。

#### 5月28日（水）

第1回常務理事会を本部事務所において開催。

#### 5月31日（土）

本会3番目の支部として埼玉県支部（埼玉李登輝友の会）がさいたま市内において設立総会を開催、約200人が出席。理事の中田一郎氏（前民社協会理事長）を支部長に、同じく理事の岡山文章氏（日本台湾医師連合会長）を副支部長に、高橋秀樹氏（戸田市議会議員）を事務局長に選出。記念講演は本会副会長で杏林大学教授の田久保忠衛氏による「ブッシュ政権のアジア政策と台湾」。

#### 6月1日（日）

本会の第1回理事会と第1回総会を東京・千代田区の東條会館において開催、約350人が出席。新理事10人が就任、今年度の事業計画などを決定。総会の記念講演は中嶋嶺雄・前東京外大前学長による「台湾の将来と日本」。

SARS救援募金を開始（6月末までの募金総額は183,957円）。

#### 7月10日（木）

阿川弘之会長が拓殖大学日本文化研究所の季刊「日本文化」（第13号）で同研究所所長の井尻千男氏（本会理事）と、李登輝氏の『「武士道」解題』をめぐって対談。台湾との関わりや会長就任の経緯について披露。

#### 7月20日（日）

第1回台湾セミナーを東京・池袋のホテルメトロポリタンで開催。（財）新渡戸基金事務局長で元岩手日報論説委員長の内川永一朗氏を講師に迎え、「新渡戸稲造と台湾」と題して講演。参加者160名。セミナー終了後、同ホテル内で約100人が参加して懇親会。

#### 8月31日（日）

本会の友誼団体「日台関係を促進する地方議員の会」（略称：日台地方議連）が東京・池袋のホテルメトロポリタンにて設立総会を開催。代表に東京都議の名取憲彦氏、事務局長に神戸市議の和田有一朗氏を選出。羅福全・駐日代表や小田村四郎副会長が参加して祝辞を述べ、記念講演は本会常務理事の黄文雄氏。李登輝前台湾総統からも、外国人登録証明書の国籍記載の改善への尽力などを期待する内容のメッセージが届く。

#### 9月5日（金）

李登輝前台湾総統を総召集人とする台湾正名運動へ、本会として初めての公式訪問団（小田村四郎団長、団員53人）を組んで渡台。石原慎太郎東京都知事からのメッセージを携えて日台地方議連も初の公式訪台。日本からの参加者総数は約300人。

#### 9月6日（土）

訪台団、台湾正名運動デモに参加。台北市内の中正紀念堂より会場の總統府前広場までデモ行進し、李登輝前台湾総統の演説や催しに参加。夜は、圓山大飯店で開かれた蔡焜燦氏

ご招待の晩餐会に出席。李登輝・曾文恵ご夫妻も同席。

**9月7日（日）**

訪台団、呂秀蓮副総統を表敬訪問。帰国。

**9月28日（日）**

理事の今井清隆氏（静岡放送顧問）が代表幹事をつとめる友誼団体「タイワングクラブ」（金兵忠雄会長）の第10回総会が静岡市内のホテルアソシア静岡ターミナルにおいて開催。柚原正敬事務局長が「なぜ日台関係は重要かー教科書を手掛かりにして」と題して記念講演。参加者約100人。

**10月5日（日）**

本会の第4番目の支部として熊本県支部（熊本李登輝友の会）が熊本市内において設立総会を開催。支部長に理事の紀伊進氏（熊本県台湾蓬莱会会長）、副支部長に荘明勝氏（医師）、事務局長に玉川孝氏（内外観光社長）を選出。参加者は約70人。記念講演は岡崎久彦副会長より「最近の国際情勢と日本外交」。講演中の岡崎副会長に李登輝前台湾総統より電話が入り、会場は大喝采。

**10月5日（日）**

新潟李登輝友の会が第1回総会を新潟市内のホテルイタリア軒にて開催。記念講演は小田村四郎副会長。参加者約100人。

**10月13日（月・祝）**

第2回台湾セミナーを東京・文京区の文京シビックホール・スカイホールにて開催。明石元二郎・第7代台湾総督の令孫で理事の明石元紹氏を講師に迎え、「明石元二郎と台湾」と題して講演。約150人が参加。

**10月20日（月）**

理事の石川公弘氏（高座日台交流の会事務局長）が実行委員長をつとめる台湾高座会歓迎大会が神奈川県座間市の市民文化会館ハーモニーホール座間において開催。台湾から元台湾少年工ら約600人が来日し、厚生労働省課長から卒業証明書や在職証明書が授与された。本会から阿川弘之会長、小田村四郎副会長らが来賓として出席し、阿川会長が「日本の心を大切にせよと台湾の人々から教えてもらう時代となった。われわれの心に灯をともしてくださいと有難う」と感謝の祝辞を述べた。[参照：月刊「正論」12月号掲載、野口毅（高座日台交流の会会長・本会理事）「日本を第二の故郷と呼ぶ台湾少年工への讃歌」]

**11月30日（日）**

設立1年目を迎え、忘年会を兼ねた「日台共栄の夕べ」を東京・池袋のホテルメトロポリタンにて開催。黄文雄常務理事が「台湾総統選挙の行方」と題して記念講演。「日本李登輝友の会の歩み」をビデオ上映。

**12月21日（日） 予定**

台湾・考試院の姚嘉文院長が来日、本会主催による「台湾の現在と将来」と題する講演会を開催（同時通訳：林建良常務理事）。